

次号予告

グラフ=PNF (1).....	府中リハ学院	エリック・ヴィール
特集=研究をめぐって		
リハビリテーションにおける研究	伊藤病院	荻島 秀男
作業療法と研究.....	都心障センター	寺山久美子
検査と評価について	都心障センター	中司 利一
講座		
PNF (1).....	府中リハ学園	エリック・ヴィール
失行・失認シリーズ (3).....	東大病院	上田 敏
研究と報告		
Wrist driven flexor hinge splint の作成経験	甲州中央温泉病院	斎藤 延男
症例の検討と反省		
大腿切断：術直後義肢装着の一症例	医歯大病院	細田 多穂
海外だより		
卒後研修—アメリカの3施設をまわって—	国立リハ学院	田村美枝子
今日の精神科作業療法		
三船病院の作業療法	高茶屋病院	井上 正吾
インタビュー		
ブラジルの留学生に聞く	国立リハ学院	富岡 詔子
リハビリテーション英語講座 (3).....	伊藤病院	荻島 秀男
プラクティカル・メモ		
肘木を用いての協調訓練の例	九州リハ大	嶋田 智明
糸まき利用.....	青森あすなろ学園	小枝 キヌ
グロッサリー		
理学療法一般用語 (2)	鹿教湯温泉研究所	平方 義信
特報/OT 研修会開催さる.....		編集部

編集後記

春も盛り、これから秋にかけては恒例の学会の季節となります。PT・OT 学会もそれぞれ6月12、13日と6月3、4、5日開催されるということで今号ではプログラムを掲載いたしました。自らの専門領域に限らずリハビリテーションチームの各領域に対する深い認識はチークを発展させるうえで是非とも必要なことだと思います。できるだけ参加して欲しいものです。

こうしてプログラムを見ておきますとたとえばOT 学会では今回の会員発表は演題が30題になりました。昨年の24題に比べると実に25%の増になります。その他分科会、映画会などバラエティも豊富になり感概深い思いとらわれます。

学会はその専門職の質の総体的表現であり、またそうあるべきだと思います。その意味でこの学

会は記号論理的には質的に25%の成長をとげているということではないでしょうか。

リハビリテーションに対する行政側のとり組みがワンサイドでしかも遅れている今日、こうした着実な歩みこそ何よりも明い未来を指し示す光でありましょう。

たとえどのような状況の中でもリハビリテーションに対する需要が日々増大していることは厳粛な事実である以上、7回め、6回めを迎えられたPT・OT 学会の発展を心からお祝い申し上げますとともに今後の一層の御発展を期待いたしております。

最後にこの雑誌が今後とも皆さまとともに歩んでいけますよう御愛読、御投稿、御意見を編集部一同せつにお願い申し上げます。(M)

編集顧問

天 児 民 和
九州労災病院長
五味 重 春
府中リハ学院長
砂 原 茂 一
国立療養所東京病院長
津 山 直 一
東京大学教授・整形外科
(五十音順、以下同じ)

編集委員

上 田 敏
東大リハビリ部
荻 島 秀 男
伊藤病院リハビリ部
佐 藤 馨
神奈川県更生指導所
寺 山 久美子
都心障センター
野 本 卓
東医歯大理療室
浜 野 夏 子
都立松沢病院
福 屋 靖 子
東大リハビリ部
松 村 秩
国立リハビリ学院

編集同人

明 石 鎌
赤 津 隆
内 村 静 子
梅 田 晃 昌
大 井 淑 雄
大 川 嗣 雄
大喜多 潤
鎌 倉 矩 子
紀 伊 克 昌
谷 岡 淳
富 岡 詔 子
奈 良 勲
福 田 修
藤 本 欽 也
前 田 守
松 本 妙 子
三 島 博 信
横 山 厳
和 才 嘉 昭
(担当 内田・岩元・三輪)